

第62回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

1 開催日 2023年 8月24日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

2 参加人数 ・男性6名 ・女性2名 ・投句2名 計9名

3 今回の季語 八月(葉月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)

4 選句の結果 *写真を見て一句! を試行してみる。



8/16 大文字送り火

*写真で一句!
兼題: 墓参り



- ・ 迎え火の煙の中に子と孫と
- ・ 猛暑中元気に楽し甲子園
- ・ 迎え盆鼻つまん団子母唄ぶ
- ・ 病む妻や「この夏持つか」今ほっと
- ・ 廃屋の忘れ風鈴時流る
- ・ 濁りなき白の力感雲の峰
- ・ 遠花火光と音の絡み合い
- ・ 指折りて季語に迷いて夕涼み
- ・ *無沙汰侘び好みの供物墓参り
- ・ 炎天の道を急ぐは我一人
- ・ 大輪の夜空に咲くや遠花火
- ・ 山寺の僧の読経萩の花
- ・ 嵐過ぎ荒れる賀茂川大文字
- ・ 揚花火果てて深まる闇無音
- ・ *墓参り磨き供えて父母想う
- ・ *孫つれて初墓参り里の旅
- ・ *先祖墓写メを開いて墓参り
- ・ *手を合わす慣れたる道の墓参り
- ・ *駐車場空待ち長し墓参り
- ・ *一人来て報告数多墓参り

5 講評・添削 披講: 東さん ⇨ 東さんも休み、
小職も休みで記録なし。

箸休めではないですが、お盆の鹿児島島の風習紹介
お盆には自宅の仏壇の前に先祖の霊の料理を用意します。

ただ、その食事風景を見せないように屏風やふすまを立て
見えないようにしておきます。出される料理は家族も食べます。
その料理の中に「鼻つまん団子」があります。

料理内容] ・そうめんの汁、・煮しめ、・がね(さつまいもが入ったかき揚げ)、
・といもがらの酢の物 と・鼻つまん団子 です。

13日にぼたもち、14日に鼻つまん団子を作り、15日までお供えます。

※13日は迎え盆。 ※14・15日中日 ※15日(送り盆)はお墓にも団子をお供えます。

「鼻つまん団子」 :丸めた後に、左手の人差し指で団子を支え、右手の親指と
人差し指を使ってぎゅとつまんで鼻のような形にします。
鼻をつまんだように見えることからそう呼ばれています。



鹿児島弁

鼻つまんダゴ ⇨ 鼻つまみダゴ

※鹿児島の方言 ※鹿児島弁は省略

★ Googleマップの活用:都合により故郷のお墓参りに行けない方へ
・故郷のお墓をGoogleマップの3D(写真)データで探すと良いですよ!

選外句

- ・白球を追う八月の万余の目
- ・秋の朝運命線に化粧水
- ・お中元暴風ありて家にこもり
- ・芋つるを何度もかえず夏畑
- ・天の川仰ぎし見れば夜の富士
- ・極暑なり朝のエアコン悩ましい
- ・猛暑日の友の悲報に術はなく
- ・この朝夕ちっちゃな涼で生を受け
- ・ポンポンと音のみ聞こゆ花火かな
- ・自由そ葬友を見送り夏青き
- ・お八時妻の手作り心天
- ・秋暑し好き放題に草伸びて
- ・日傘差し歩く姿は気持ちよし
- ・大型犬の静かな散歩秋の暮
- ・暑さでは金銀の街皆だらり
- ・花火観て残像楽しむ帰り道
- ・送り火に亡き友唄ひ手を合わす
- ・*名も知らぬ小花見つける墓参り
- ・*嗚呼吾一人一家九人の墓参り
- ・*手を合わすマップ写真に故郷の墓

6 次回(#63)開催日 2023年 9月28日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 九月(長月)の季語全般

写真で一句 : 芒・薄・ススキ

歳時記を参考に!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること!